



MOYAI ANNUAL REPORT 2021



認定NPO法人
自立生活サポートセンター・もやい
2021年度 | 年次報告書



MOYAI ANNUAL REPORT 2021

2年目のコロナ禍 深刻化する 貧困に直面した2021年

大西 連

認定NPO法人 自立生活サポートセンター・もやい 理事長

2021年は〈もやい〉にとって設立20周年の年でした。本来であれば、〈もやい〉に関わる多くの人と集い、語らう場にしたいという思いがありましたが、コロナ禍ということもあり、ジャーナリストの安田菜津紀さん、ライターの望月優大さんをお招きしオンラインでのトークイベント、という形での実施となりました。

この20年を振り返ると、野宿者支援から始まり、ネットカフェに住む方への支援、アパートがある方や若者、女性などへの支援と、貧困の「かたち」の変化や多様化に対し、常に、〈もやい〉として何ができるのかを考え、最前線で、できることに取り組んできた、そんなことが言えるのではないのでしょうか。

コロナ禍2年目の2021年は、まさに、〈もやい〉にとっても、その存在意義を試される1年であったと言えます。

新宿都庁下での食料品配布 & 相談会に訪れる人は、最も多いときで557人に達しました。

また、アパート型シェルター事業の本格稼働やオンラインツールを活用したCOMPASSプロジェクトの実装など、多様化し深刻化する「貧困」に対応するために、これまで以上に多くの取り組みをおこなってきたのではないかと思います。

コロナ禍が長引くなかで、非正規で働く人など、経済的にも疲弊し、生活基盤が崩れてしまった方も多くうまれてしまっています。

しかし、相談者増という形で「貧困」が可視化された反面、政策への反映にはまだまだ至っていないということも事実でしょう。

私自身も2021年6月より、内閣官房孤独・孤立対策担当室の政策参与に就任し、政府の孤独・孤立対策の政策立案に携わるようになりましたが、政策実現に向けて越えなければならないハードルの多さに直面しているのが実態です。

「貧困」を社会的に解決する、が〈もやい〉のミッションですが、まだそのゴールは遠く、歩んでいる道が正しいのかもわからない日々です。しかし、コロナ禍という厳しい社会状況のなかで、いま困ってる方に必要な支援を届けていく、そして、発信し、提言していくことを通じて、少しずつでも前に進んでいけたらと考えています。

2021年度も、〈もやい〉は多くの方に支えられて活動をおこなってまいりました。引き続きの、ご支援、ご協力を、心よりお願い申し上げます。

01 都庁下の活動



コロナ禍の2020年4月から開始した新宿都庁下での食料品配布と相談会は、21年度も継続して毎週土曜日に実施しています。2022年1月22日には、過去最多の557人に食料をお配りしました。21年度の1年間で計52回、19,405の方に食料品をお渡ししましたが、これは20年度の倍以上の規模です。女性や若者、子育て世帯、住まいがある方、お仕事をされている方なども、生活の不安を抱えて相談に訪れています。



COMPASS PROJECT

COMPASSプロジェクト チャット&駆けつけ支援



一人目にはご本人を、二人目以降には同居していて、生活保護を受けたい方のみご記入ください。

ご本人の氏名

もやい えていっく

必須

ご本人の性別

 女性

 男性

必須

 その他

ご本人の生年月日

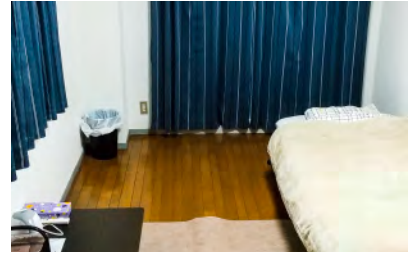
必須

02 交流事業の新たな展開



2021年4月より藤沢市との協働事業として「もやい畑」が始まりました。畑を利用した居場所事業で、以前より〈もやい〉に関わっている方、畑に興味がある方など様々な方にご参加いただいています。コーヒー焙煎事業では2022年2月からWEB SHOPをオープンし、さらなる飛躍をとげました。営業を停止していたサロンも実験的に限定して開催したりと、2022年度もコロナ禍でもできる活動を、一歩ずつ継続していきます。

03 シェルター本格始動



2021年度は部屋数を増やし9部屋にて運営。22名の方が利用され8割以上の方がアパート生活へ移行していきました。首都圏ではホームレス状態で生活保護につながる施設等への入所を半ば強制されてしまうことが多く、それがハードルとなって生活保護の利用を躊躇う方も少なくありません。〈もやい〉は施設ありきの現状を変えていきたいと考えています。もやいシェルターの取り組みについては報告書を取りまとめ、シェルターの必要性を訴えていきます。

使える支援制度が
簡単に探せるWEBアプリ
「支援検索ナビ」

<https://navi.com-pass.site/>

ぜひご利用ください

生活保護申請に
必要な書類が作成できる
「パス (PASS)」

<https://pass.com-pass.site/>

〈もやい〉では2021年度にオンライン支援ツールのパッケージとしてCOMPASSプロジェクトを立ち上げました。具体的には、①生活保護申請書作成支援システム (PASS)、②支援検索ナビ、③もやいHP上でのチャット相談の3つを実装しました。コロナ禍で全国的に厳しい経済状況に追い込まれたり、安心できる住まいがない方が1人でも多く支援につながるができるよう、引き続きオンラインで活用できる支援の仕組みを開発し、社会に広めていきたいと考えています。

生活相談・支援事業

昨年度に引き続き都庁下での食料品配布と相談会を実施し、配食数は大きく増加しました。若年層や子ども連れの家族などの姿も見え、広範な層がいまだに厳しい生活を送っていることがうかがえます。また、今年度はチャット相談やオンラインでの支援の仕組みを整備し、これまでリーチできなかった困窮者層につながることができました。



生活保護申請の同行件数

約 **150** 件

相談件数

約 **4,000** 件

都庁下での配食延べ数

20,000 食以上

2020年度に比べて、都庁下での配食数は約2倍
申請同行の件数は約2~3割増

入居支援事業

連帯保証人

416
世帯

緊急連絡先

1024
世帯

(新規・継続の合計数)

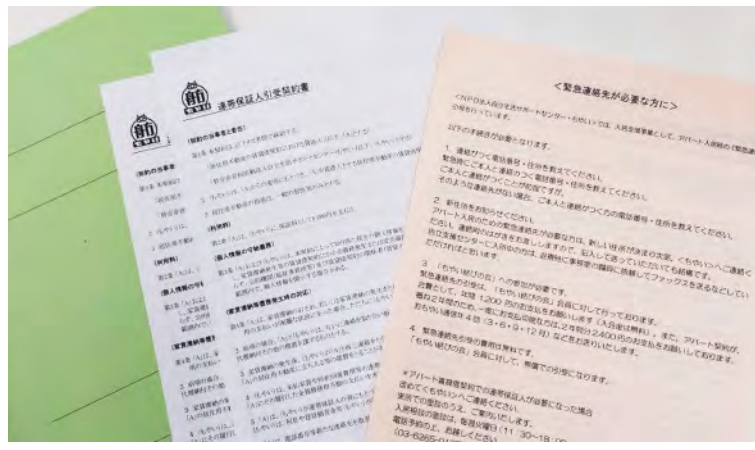
//////// 住まい結び(不動産仲介) //////////

相談件数

33 件

成約件数

22 件



毎週水曜(2022年度は金曜)に連帯保証人や緊急連絡先の新規・更新契約手続きと面談をしたほか、随時、入居後の困りごとの相談対応やトラブル対応、あるいはお亡くなりになった方のお部屋の引き払いの手配などを行いました。

不動産仲介事業では、主にホームレス状態の方のアパート探しのお手伝いをしています。2021年度はシェルター入居の方がアパート生活へ移行する際のサポートもおこないました。

交流事業

2021年度も新型コロナウイルスの影響で大幅に活動を縮小しました。しかし、孤独・孤立を防ぐためにも、少しずつ活動し始め。3月には春のお墓参りを行いました。4月からは藤沢市との協働事業「もやい畑」が始まりました。4月と12月に完全予約制のサロンを開催しました。さらに2月にはコーヒー焙煎事業のWEB SHOPもOPENしました。



居場所づくり

実施回数 **2**回 / 参加者 **43**名

はたらく場づくり

コーヒー焙煎

実施回数 **34**回 / 参加者 **197**名
(延べ)

農作業

実施回数 **53**回 / 参加者 **390**名
(延べ)

サロン・敬老会実施イベント

春のお墓参り 参加者18名

広報・啓発事業

取材対応

110件以上

〈もやい〉セミナー参加者

450名以上

政策提言実績

〔厚生労働省〕 **1**件



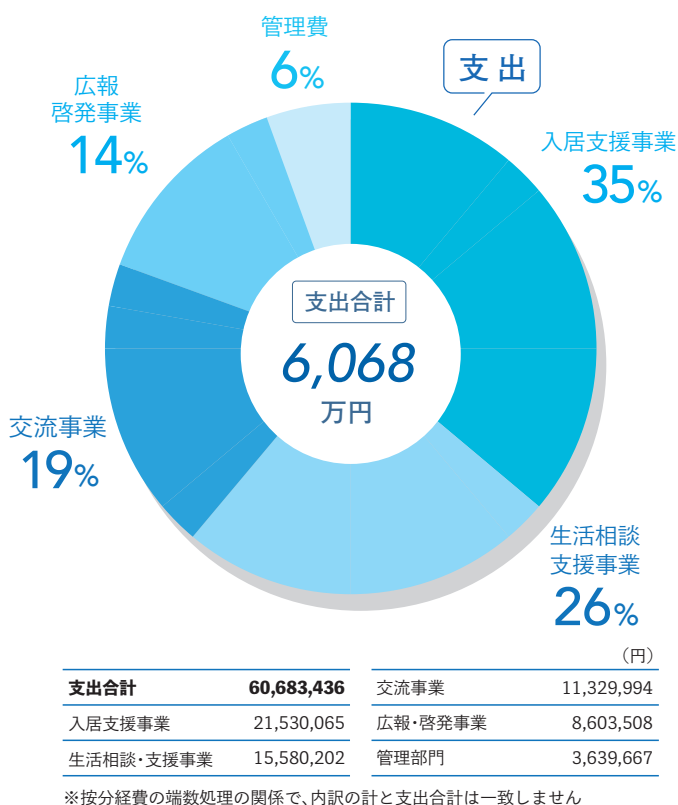
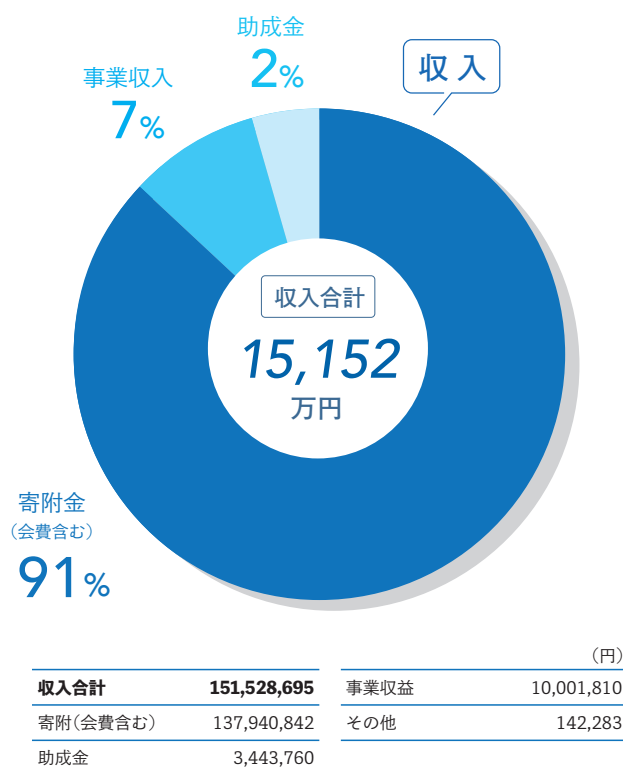
昨年は中止した貧困問題基礎講座を、今年は初めてオンラインにて開催しました。また、セミナーは月2回オンラインでの開催でしたが、つねに定員の20名近い方からお申し込みがあり、そこからボランティア登録につながった方も160名いました。コロナ禍で貧困問題への関心が高まり、自分も何かしたいと行動に移す人が増えた結果だと考えられます。

2021年度 会計報告

2021年度も、前年度に引き続き多くの方からのご寄附に支えられました。これまで〈もやい〉の収入の多くは個人からのご寄附でしたが、新型コロナウイルスによる困窮が広がる中、企業からのご寄附のお問い合わせも増えています。社員からの寄附を募り、会社がそれに上乗せをした金額をご寄附くださったり、災害備蓄品を大量に送ってくださったり、ご寄附の

かたちもさまざまでした。

支出に関しては、2020年度と比べて入居支援事業の支出が多くなっていますが、これはシェルターにかかる経費（支払家賃など）によるもので、2021年末で助成金が終了し、自主財源に切り替わったことが影響しているといえます。



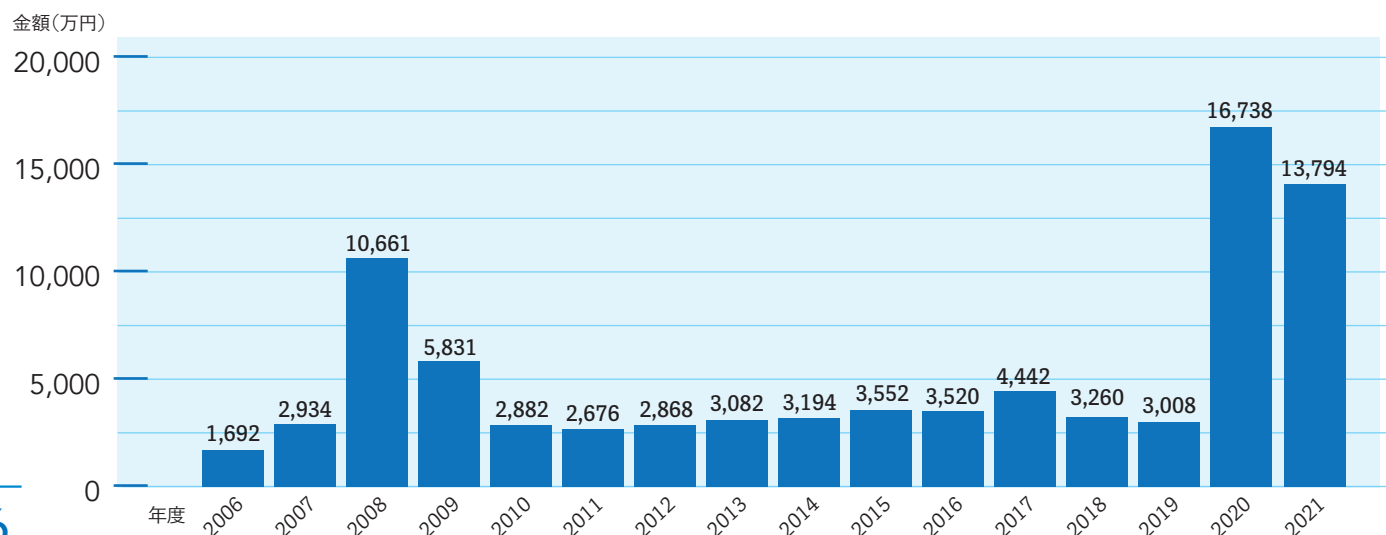
助成金取得実績

藤沢市市民自治推進課／休眠預金活用事業／NPO法人抱樸 他

物資支援等

パルシステム連合会／パルシステム東京／新宿センタービル管理株式会社／東京テアトル株式会社／精工産業株式会社／Amazonほしいものリストからの支援／カタログハウス／他多数

寄附金額の年次推移 (2006年度以降)



メディア掲載実績

新聞

- ▶〈衆院選2021〉職あれど窮す「道筋を」 炊き出し 若者・女性目立つ／日本経済新聞
- ▶コロナの街で@東京・西新宿 ビルの一角 食料配布に300人の列／朝日新聞
- ▶炊き出しの現場から 失業手当、生活保護活用を／時事通信配信・京都新聞など
- ▶困窮者 職住確保の必需品 スマホ貸与 自立後押し／読売新聞
- ▶第十二回「地域再生大賞」優秀賞「もやい」 生活困窮者サポート／東京新聞

雑誌

- ▶連載「生きづらさの中で」 望まない孤独や社会的孤立をいかになくすか／月刊ガバナンス
- ▶食料配布の列に並ぶ女性が増加 3時間歩き食料を得る／A E R A
- ▶コロナ禍で参加者が2.5倍増 家なき中年も集う相談会に密着／SPA

テレビ・ラジオ

- ▶「大竹まことのゴールデンラジオ」出演／文化放送
- ▶「荻上チキ・Session」出演／TBSラジオ
- ▶NHKニュース、「news zero」（日本テレビ）などの報道番組

WEBメディア

- ▶「仕事あっても…」食料支援の列へ 並ぶ人の声に浮かぶ困窮の実相／朝日新聞デジタル
- ▶Beneath the Olympic flame, some of Tokyo's most vulnerable stay tucked out of view / Los Angeles Times

ほか、掲載・出演多数

もやいの活動をご支援ください

〈もやい〉の活動は、多くのみなさまからのご寄附で支えられています。日々〈もやい〉に届くSOSに添えていくためには、安定した財政基盤が欠かせません。この社会から貧困問題がなくなる日まで、私たちの取り組みにぜひみなさまの力をお貸しください！

※〈もやい〉への寄附金（相続財産・遺贈寄附含む）は税額控除の対象になります。

寄附の方法

【単発の寄附】

- ▶クレジットカード決済
- ▶口座へのお振込み
郵便振替口座
銀行口座（三菱UFJ銀行）
ゆうちょ銀行口座

【継続的な寄附】

- ▶クレジットカード決済
- ▶銀行口座から引き落とし



寄附に関するお問い合わせ：TEL 03-6265-0363（火・水・金 14～17時、祝日休み） <https://www.npomoyai.or.jp/kifu/>



2021年度もやいスタッフメンバー

左から：結城翼（生活相談・広報）／田中悠輝（生活相談・広報・交流）／東あさか（入居支援）／川岸夕子（入居支援・生活相談）／伊藤かおり（入居支援）／大西連（理事長）／小泉幸子（事務・経理）／加藤歩（事務局長・生活相談・広報）／磯村健太郎（広報・生活相談）／パパことOさん（交流）／澤田洋子（入居支援）／松下千夏（交流）



認定NPO法人
自立生活サポートセンター・もやい
のミッション

新たな暮らしの基盤と、新たな人間関係を。
ひとりひとりの再出発を応援するために、
4つの「つながり」事業を展開しています。



01 入居支援事業 新生活の基盤づくりに「つながり」を。

アパート入居にむけた支援 不動産仲介事業

02 生活相談・支援事業 生活の困り事を相談できる「つながり」を。

もやいほっとライン 面接相談 制度利用のサポート

03 交流事業 おたがいに信頼し合える「つながり」を。

イベント開催 居場所づくり

04 広報・啓発事業 社会と貧困問題に「つながり」を。

公的機関への提言 情報発信 講演

認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい

〒162-0801東京都新宿区山吹町362 みどりビル 2F

TEL 03-6265-0137(火曜日12時～18時・金曜日11時～17時・祝日はお休み)

FAX 03-6265-0307 info@npomoyai.or.jp <https://www.npomoyai.or.jp/>